



納富 信留 (NOTOMI Noburu)

東京大学人文社会系研究科 教授

東京大学文学部卒業、
同大学院人文科学研究科哲学専攻修士課程修了。
英国ケンブリッジ大学古典学部博士課程修了。
Ph.D.

九州大学助教授、慶應義塾大学文学部准教授、同教授を経て、2016年4月1日より現職。国際プラトン学会元会長（2007~2010年）、日本哲学会理事、日本西洋古典学会委員、日本学術会議連携会員など。

専門は、西洋古代哲学、西洋古典学。古代ギリシアにおける「哲学（フィロソフィア）」の成立を焦点に、詩と哲学、ソフィスト、弁論術、ソクラテス、プラトン、アリストテレスなどを主なテーマとしている。また、ギリシア哲学の近代日本やアジアでの受容も研究している。

著書に、*The Unity of Plato's Sophist: Between the Sophist and the Philosopher* (Cambridge University Press, 1999: 邦訳、『ソフィストと哲学者の間』、名古屋大学出版会、2002年)、『プラトン—哲学者とは何か』(NHK出版、2002年)、『哲学者の誕生—ソクラテスをめぐる人々』(ちくま新書、2005年)、『ソフィストとは誰か?』(人文書院、2006年、サントリー学芸賞; ちくま学芸文庫、2015年)、『プラトン 理想国の現在』(慶應義塾大学出版会、2012年)、『NHK 100分 de 名著 プラトン『饗宴』』(NHK出版、2013年)、『プラトンとの哲学—対話篇をよむ』(岩波新書、2015年)がある。編著に、*Dialogues on Plato's Politeia (Republic)* (Noburu Notomi and Luc Brisson (eds.), Academia Verlag, 2013)、『テキストとは何か—編集文献学入門』(明星聖子・納富信留編、慶應義塾大学出版会、2015年)、『内在と超越の闕—加藤信朗米寿記念哲学論文集』(土橋茂樹・納富信留・栗原裕次・金澤修編、知泉書館、2015年)。訳書に、プラトン『ソクラテスの弁明』(光文社古典新訳文庫、2012年)、アリストテレス『ソフィスト的論駁について』(岩波書店「アリストテレス全集」第3巻、2014年)などがある。